

平成26年度教職員レベルアップセミナー講座案内

(東予2会場、中予8会場、南予2会場 合計12講座) ※大学、庁舎への駐車はできません。

講座 番号	分野	担 当	講座名	日 時	場 所	対 象	備 考	概 要
1	国語	愛媛大学 教育学部准教授 青木 亮人	俳人正岡子規の人生 と、俳句の解釈のあり方 について	8月4日(月) 13:30～15:00	愛媛大学教育学部 2号館4階403教室	小学校 中学校 高等学校	定員:100名 準備物は特になし	正岡子規は偉大な文学者と称えられていますが、実際は挫折と批判の多い一生でした。当時の資料をもとに俳人子規の人生をたどることで松山出身の子規の実像にせまるとともに、彼の俳句分析を通じて「俳句という短い詩型文学をいかに解釈すればよいのか」といったことを考えることで、学校教育における俳句指導の一助になればと思います。
2	数学	愛媛大学 教育学部教授 平田 浩一	数と図形の不思議	8月25日(月) 13:00～15:00	愛媛大学教育学部 2号館4階403教室	小学校 中学校	定員:100名 電卓	数と図形の話は、小学校算数、中学校数学の中心的な学習内容です。今回のセミナーでは、数と図形の世界にスポットをあてて、算数・数学が深く関わっているのに、見過ごしてしまいがちな現象について取り上げて見ます。取り上げる題材は、分数と小数、ピタゴラス数、図形の面積、一筆書き等です。
3	音楽	愛媛大学 教育学部准教授 井上 洋一	タブレットP Cを用いた 音楽づくり・創作のアイ ディアとヒント	8月19日(火) 13:30～16:30	愛媛大学教育学部 2号館5階 大演奏室	小学校 中学校 高等学校 特別支援	定員:30名 鍵盤ハーモニカ リコーダー 等	「音楽づくり」「創作」の授業をどう進めてよいのかお悩みの先生方も多いことでしょう。この講座では、タブレット型コンピュータ(iPad)と鍵盤ハーモニカやリコーダーなど音楽室にある身近な楽器を用いた楽しい「音楽づくり」「創作」の体験してもらいます。また、県内で実践した小・中・高等学校の授業の様子も紹介します。
4	美術	愛媛大学 教育学部講師 福井 一真	工作・工芸教育における 道具使用の基礎基本	8月5日(火) 9:00～12:00	愛媛大学教育学部 木工芸室	小学校 中学校 高等学校 特別支援	持参物:彫刻刀、筆記用具、 汗ふきタオル ※木工芸室は冷房がありません。日中は35度を超えるか と思います。汚れてもよい動き やすい服装をお願いします。 定員:20名	工作・工芸教育の現場で使用される機会の多い道具(のこぎり、小刀、彫刻刀、金づち等)の使用方法については、頭で理解しているけど、実際に授業で児童・生徒に使用させることは難しいと感じている人は多いのではないのでしょうか。本講座は、道具の使用について自信のない方などを対象として、道具の使用方法(特に小刀)についての基礎・基本を改めて確認していきたいと思います。
5	体育	愛媛大学 教育学部教授 牛山 眞貴子	「リフレッシュ&エン ジョイ～疲れをとって、 切れ味のよい体で2学期 へGO!」	7月31日(木) 松山市外 13:00～14:30 松山市 15:00～16:30	愛媛県武道館 副道場	小学校 中学校 特別支援	1クラス定員30人 運動できる服装 (ジバン、スカート不可) 武道館ですのでシューズは必 要ありません。 ソックス、タオル 水分(多めに用意)	先生!お疲れ様です。先生という仕事は1年を通して本当に疲れます。だから夏の後半、一度体をリフレッシュしておくとか秋がとっても楽しくなります。この講座ではまず皆様の体をケアして、疲労を回復する力を高めます。内容は①疲労回復のストレッチ②体を動きやすくする運動③少しですが、ご要望の高い「子どもたちといっしょにできるダンス」も取り入れています。「夏バテしやす」「ダンスは苦手」とおっしゃる方でも、全く心配なく取り組んでいただける内容です。どうか、気軽にご参加ください。そして切れ味のよい体で2学期を迎えましょう。
6	英語	愛媛大学 教育学部教授 池野 修	英語リーディング活動の バリエーション	8月6日(水) 10:00～12:00	愛媛県 歴史文化博物館 研修室	中学校・ 高等学校 英語教諭	定員:80名	中学校・高等学校の英語教諭を対象に、様々なリーディング活動(音読は除く)および実施上の留意点について考察します。英文への興味を高める活動、英文の理解を促す活動、英文に含まれる言語形式(文法・単語)の定着のための活動、読みを他の技能(L, S, W)につなげる活動のバリエーションについて、実際に活動を体験しながら、指導上の工夫について考えます。
7	学校教育	愛媛大学 教育学部教授 橋本 巖	児童・生徒の学習意欲と 自己形成 ー心理学の視点からー	8月26日(火) 13:00～15:00	愛媛県 総合科学博物館 研修室	小学校 中学校 高等学校	定員:90名	大人が自分の専門を選ぶとき、入学者が志望動機を話すとき、その人の興味の対象が、自分にとって大切な世界として語られます。その興味は、授業で出会った興味からどう育ったのでしょうか。学びへの動機付けは、状況を超えて自己形成につながります。逆に、自分にとって重要なことだと子ども自身が理解することで、日々の学びは自律的に取り組まれるようになります。「自己」の関わり方が、学びを変えます。本講座では、このような、学びの意欲と自己形成との関係を、心理学の視点から解きほぐし、実践への示唆と一緒に考えてみましょう。
8	放射線教育	愛媛大学総合科学 研究支援センター 特命准教授 増田晴造	原子力災害と放射線影響	8月20日(水) 13:30～16:00	愛媛県 生涯学習センター 大講義室	小学校 中学校 高等学校 特別支援	定員:90名	この春文部科学省から出された放射線教育のための新しい副読本は、放射線の基本的な知識と共に、福島第1原子力発電所事故によって引き起こされた幾つかの課題が記載されています。私の講義は、「放射線の人体影響と防護」についての基本的な話を中心にしながら、原発事故が起きた際には、どのような影響が周辺住民の間で起きるのかということについて、新副読本を参考にしながら進めていきます。
9	生徒指導	松山大学経営学部 教授・臨床心理士 石川 正一郎	心を考える	8月8日(金) 10:30～12:00	東予地方局 7階大会議室	小学校 中学校	定員:70名	人間の心について、進化という視点を踏まえて考えてみようと思います。そうすると、人間の心には「マザーテレサとランボーが同居」しているとか、発達途上の子どもの本性的要求とか、教室内カーブはなぜできるかとか、心の健康や病理は人間の本性と関係しているといったことが、今までとは違った視点から見るができるでしょう。勉強というのではなく、考えるヒントみたいなことを話すつもりなので、気楽に参加してください。
10		臨床心理士 徳田美保	子どもや親との関わりについて	7月28日(月) 10:30～12:00	中予地方局 6階第2会議室	高等学校 特別支援	定員:50名	子どもたちの抱える問題(抱える課題)は、学校現場で教師に語られることが多くあります。身体的・心理的に変化成長していく子どもたちを、理解し関わっていくとすると、保護者(親)と関わることもなります。子どもや親を受容的に受け止めて客観的な判断をしていくスキルが必要でしょう。具体的な対応方法などを見つけていける機会にしたいと思います。
11				8月7日(木) 10:30～12:00	南予地方局 7階会議室		定員:150名	
12	芸術	坊っちゃん劇場 女優 加藤 富子	演劇ワークショップ『共 に感動を創り出す』(見 る・聞く・伝える)	7月31日(木) 13:30～16:30	坊っちゃん劇場 大リハーサル室 (集合:ロビー) ※研修会場を変更す る場合があります	小学校 中学校 高等学校 特別支援	定員:25名 準備物:動きやすい服装、上履き	日頃、子どもたちと向き合っている自分に、違う角度から向き合ってみてはいかがでしょう?演劇という空間の中で、表現する事の面白さ、伝えること、感動を創り出すことの楽しさを体験できたら素敵だと思います。また、普段は体験できない舞台裏を見学するバックステージを御用意しています。有意義な研修となるよう事前にステージをご覧ください。